

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和4年度 第3回佐渡市図書館協議会
開催日時	令和4年 12 月 12 日(月)9:30～11:30
場所	佐渡市立中央図書館 2階講座室
議題	(1)議題 ①さわた図書館基本構想 ②その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	非公開 (佐渡市附属機関等の設置運営等に関する要綱第9条に基づき、佐渡市情報公開条例第7条2項5号に該当するものとし、非公開とする。 第3回図書館協議会の議案である「さわた図書館基本構想」は未決定の素案であり、公にすることにより未成熟な情報が確定的な情報であるとの誤解や憶測を招き、市民の混乱を生じさせる恐れがあるためです。)
出席者	佐渡市図書館協議会委員 会 長 木村 和夫 副会長 関根 良子 委 員 小松 美知乃 海老名 忠 杉坂 芳文 遠藤 邦子 坂口 可奈子 渡邊 日出子 土屋 雅朗 事務局 (建築住宅課) 主任技師 加藤 文紀 (教育委員会社会教育課) 課 長 市橋 秀紀 館 長 村岡 直 係 長 伊藤 優美 主 事 本間 春菜
会議資料	なし
備考	議案の「さわた図書館基本構想」は未決定の素案であるため、紙資料を配布せず、タブレットを使用して説明。

会議の概要(発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
伊藤係長	<p>1 開会</p> <p>(挨拶)</p> <p>本日議案のさわた図書館基本構想についてですが、まだ素案で決定したものではありませんので、今回は紙での配布はせず、データでの説明とさせていただきます。今回の説明内容につきましては、中央のスクリーンでこちらを基に説明させていただきたいと思っておりますが、場所が遠かったり、スクリーンが小さかったりということもあり、細かい内容をご覧になりたいという時は、お手元のタブレットで細かい部分についてご確認いただければと思います。(タブレットの使い方説明)</p> <p>本日ですが、さわた図書館の建築関係の説明として、建築住宅課の加藤主任技師に同席いただいております。</p>
加藤主任	佐渡市建築住宅課の加藤と言います。本日はよろしくお願いたします。
伊藤係長	それでは開会にあたりまして、社会教育課長市橋よりご挨拶を申し上げます。
市橋課長	<p>おはようございます。今年度については、佐和田行政サービスセンターを図書館にしたいということで、会議の回数が増えております。皆様にもご迷惑をおかけし申し訳ございません。今、伊藤から話がありましたが、概ねの構想ができたため、皆様に内容を説明したいと思い、今回の場を開催させていただきました。ただ、リフォームで、元々の図書館として一から立ち上げたものではなく、元々佐和田行政サービスセンターの事務室のリフォームというところで、なかなか抜けない壁があったり、取れない柱があったり、その中で、今紹介しました建築住宅課の加藤さんがいろいろなことを考えてくれた中で、こういう方向がよいのではないかとこのところを業者と打ち合わせをしながらできたものがこれになります。このあと、今日皆様に概ねの方向を説明し、明日議会がありますので議会に一旦この内容を説明いたします。そして来週教育委員会がありますので教育委員会で説明いたします。そして1月に入り地元説明を開始したいと思っております。</p> <p>今伊藤からこのタブレットの使い方についてありましたが、やってみてください。佐渡市でも、市長からなるべく紙を使うと言われております。我々の会議についてはこういったものを見るようなかたちで、保存もパソコンの中に保存し、な</p>

	<p>るべく紙を使わないように動いています。ただ、まだこういう会議ではそこまで言っていないが、本日はこの図面についてはいったんパソコンで見たいと思いますので、よろしく願いいたします。それと、質問などいろいろなことを出してください。我々も気づかない点が多いと思いますので、意見など言っていたら、我々ではなく加藤さんが答えてくれるところがありますし、またこのあとの検討にもつなげていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
伊藤係長	<p>2 議題 (1)さわた図書館基本構想 (資料確認)</p>
木村会長	<p>先ほど、伊藤係長さんと社会教育課の市橋課長さんからこちらの説明を受けましたが、これについてももう少し詳しくというところはありますか。これは図面なので、上のほうが北と考えてよろしいですか。下が海側？</p>
伊藤係長	<p>右の一番上に方位のマークが付いています。</p>
木村会長	<p>そうすると、下が真野湾向きということでよろしいですか。あとは大体よろしいですか。</p>
市橋課長	<p>上が駐車場で下が海側になります。</p>
木村会長	<p>本日、一番左側、一人空いていますが、所用でお休みと連絡を受けております。9名参加ということで会議は成立しますのでよろしく願いいたします。 せっかく加藤様においでいただいておりますので、事務局並びに加藤様から、丁寧に2階と3階の案のお話をさせていただけると、2階案がよいのか、3階案がよいのか、その中でもさらにいろいろな意見が出やすくなると思いますので、できるだけ丁寧に説明していただきたいと思います。説明の際には、最初のページは2階、次が3階、そのうしろにそれぞれの階ごとの入れられる蔵書も出ているようですので、そのへんも何ページ目かということも、ゆっくり操作を考えながら説明していただけるとありがたいと思います。では基本構想のご説明をお願いいたします。</p>
村岡館長	<p>おはようございます。中央図書館の村岡と申します。本日はお忙しい中ありがとうございます。図面ですが、2階が2枚、3階が2枚ですので、あとで詳しく説明させていただきます。 図面に入る前に、課長から改築ということで前提となる条件がいくつかありますので、その部分を説明させていただいたのちに、具体的な計画案等を説明させていただければと思います。 まず前提条件です。1番ですが、耐震工事となって、平成 27 年度に佐和田サ</p>

	<p>ービスセンターは耐震工事を地震対策の一環としてやっております。そのため、撤去できない柱や壁があるということで、自由な図書館のレイアウトが難しい点をご理解いただきたいと思います。</p> <p>また建築の関係ですが、床の部分で佐和田サービスセンターは図書館の用途で建築されたものではないので、床に耐えられる部分として、重い本棚の配置には限界がある点がございます。あとで図面で説明いたしますが、基本事務所が入っておりまして、特に2階部分については信用保証協会と母子健康センターが入っており、そこは移転が難しいので、2階においては利用できる面積が限られているところが前提条件としてございます。</p> <p>4点目、佐和田サービスセンターのエレベーターについては、皆様に現地でご視察いただきご意見をいただいた中で、改修したほうがよいのではというご意見をいただきましたが、庁舎整備と検討している中で、改修予定で考えているという以上4点が前提となって考えています。このことを踏まえ、案のご説明をさせていただきます。</p>
木村会長	<p>今エレベーターについてご説明がありましたが、2階でいうエレベーターはどの位置ですか。</p>
村岡館長	<p>中央の階段の横がエレベーターです。</p> <p>まずは具体的な2階、3階に入る前に、佐渡市で考えている計画の全体的な考え方についてご説明させていただきます。2階につきましては、先ほど前提条件でもありましたが、信用保証協会や母子健康センターが入っていることから使える面積が少なく、また、エレベーターが整備されることを考慮し、図書館については3階をメインとして事務局としては計画いたしました。また、令和4年度の議会中に市長が何回か発言していますが、さわた図書館の整備とあわせて子育て拠点施設も佐和田に整備したいというかたちで佐渡市は計画しており、2階について子育て拠点施設及び図書館の機能を付与したかたちでの、より親子でくつろいでいただける空間づくり、親子で読み聞かせを行えるかたちのものを2階に整備したいと考えています。3階については、さわた図書館の整備ということでメインとして考えています。また、ご視察いただいた中で、議場の部分について、傾斜を生かしたホール利用を考えています。具体的に2階のご説明をいたします。灰色の部分が、信用保証協会になり、こちらが母子健康センターで使えませんので、色が付いているところのみが使える面積になります。</p>
木村会長	<p>色は付いていませんが、書庫があります。PCコーナーの左、書庫(1)、この書庫は図書館のための書庫でしょうか。</p>
村岡館長	<p>今、佐和田の入っている書庫ですので、図書館といった部分でなく使えない部分になります。こちらについても計画には入っていません。あとでご説明いたしますが、書庫の計画もあります。</p>

まず緑色の部分ですが、児童書スペースということで、小学校中高学年の本を読んだり勉強したりのスペースになります。椅子を 12 席、書架を壁際に配置し

2025 冊、パソコンコーナーを設置し、本を読んだり勉強するコーナーになります。隣の緑色については、低学年スペースで、10 席くらい、2700 冊、42 m²くらいで小学校1・2年生が本を読んだり勉強するスペースになります。中央の青色が2階の子育て拠点施設になりますが、事務所及びカウンターとなっており、来館者の問い合わせ、案内等を行います。広さは 27.5 m²です。ピンク色についても、幼児・低学年向けです。児童書スペースで、親子で読み聞かせを行い、くつろいでいただく利用を考えています。床はフローリングで、靴を脱いで上がっていただき、親子でくつろいでいただくかたちで、ソファが7席で壁際に配置し、絵本・児童書等で書籍は 2040 冊程度考えています。右の部分は、多目的スペースとなっております。読み聞かせ、紙芝居、工作等幅広く利用いただくスペースとして考えています。広さは 49.3 m²、椅子が 20 席です。下段の部分は赤ちゃんスペースで、フローリングスペースで靴を脱いで利用いただき、おむつ台を3つ配置し、手洗い場所も確保し、石鹸水付きの部分ですが面積は 80 m²で、お母さんと赤ちゃんのスペースになります。下段になりますが、左の青色は相談室です。こちらは子育て支援の相談員がお母さんの相談事を聞き、悩み相談を受け付けるかたちになっており、広さは 21.4 m²、机1、椅子4席です。下段の黄色いスペースは、親子交流体験休憩スペースで、自動販売機やウォーターサーバー、飲み物等でくつろいでいただき、また、お母さんたちの交流の場として情報交換を行えるかたちのスペースです。広さは 106 m²、テーブル5個(20 席)、壁際のカウンター席を7席用意しています。

2ページ目に移ります。緑色で配置しているのが具体的な本棚です。2階部分の本については、子育て拠点施設として、佐渡市子ども若者課が主力になり計画しております。また、子育て拠点の中で、絵本など親子で読み聞かせの機能を付与していくかたちでの書架の配置、図書館との連携としての2階整備ということで、計画案として考えております。繰り返しになりますが、左の部分のところに信用保証協会、右側に母子健康センターで使える面積が少ないこともあり、2階を図書館として使う案も最初ありましたが、使える面積が少ないこともあり、3階をメインにして考えています。

続いて、3ページ目です。こちらは3階、図書館になります。上段の緑色の部分は学習スペースです。学習席として 22 席、書籍は 1164 冊で、今さわた図書館についてはなかなか学習するスペースがありませんので、高校も近いということもあり、学習スペースの環境も今回整備したいと考えています。隣のピンク色は図書室になります。26.9 m²、書籍 2048 冊、ベンチを配置しています。続いて、中央の青い部分は事務所等受付になります。上段上のほうが事務所になり

ますが、手前にカウンターを配置して、通常の受付、返却等が行えるようになっています。エレベーターの前のあたりに検索システムもございます。青色の隣のピンク色のゾーンは、いくつか分かれております。左のほうはブラウジングコーナーです。こちらは新聞や雑誌を見るようになっています。畳のスペースもございます。テーブル3席、広さは45.2㎡です。こちらと隣、下の部分は図書スペースです。計113.4㎡。カウンター席もございますが、カウンター席が12席、書籍数は8104冊です。本棚との間については、車いすがすれ違える間隔を空けております。今のさわた図書館は、人がすれ違うのが難しいスペースなので、障害のある方にも配慮したスペースになっております。あとで建築住宅課の加藤さんからも説明があると思いますが、構造上4つの柱の中に、本棚が2列くらいしか配置できないのが重さの関係であるので、詰めて3つくらい入るのではと思いますが、実際は4つの中に本棚が2つの目安でなっているので、重さの関係で本棚を詰め込むことができない部分がございます。下段の左端については、書庫を予定しています。広さは34㎡で、2240冊くらい保管できるかと思います。書庫の隣のピンク色については、郷土資料・参考書等を置くようなレイアウトで考えています。窓側に読書カウンターを配置し、カウンター席4、テーブル4席、冊数は4480冊です。一番右端は議場です。皆様にご視察いただいておりますように、段々になっており傾斜になっています。現状の勾配を活かしたかたちでの多目的ホールとして、イベント利用を行いたいと考えています。読み聞かせ、絵本作家等を招いての講演、お話し会、絵本フェスタ、紙芝居、音楽と読み聞かせの組み合わせ、スクリーンを設置しての映画上映、ホール内のプロジェクションマッピングなど、本とイベントを組み合わせるかたちで普段図書館に来ない方たちにも来ていただき、より図書館利用を推進したり、本に親しんでいただくイベントを開催したいと思っておりますし、普段については本を見る閲覧場所を快適な配置をする中で見ていただく場所と考えています。

次のページです。3階ですが、緑色の部分が本棚の配置です。あとで加藤さんからご説明があると思いますが、取れない壁があり、防犯的に死角になる部分が2階3階ございます。そういった部分については、カメラ等を設置する中で安全に利用できる図書館を目指したいと思っております。

次に移ります。冊数の表になります。青く塗られているところが、2階部分の本の合計です。7485冊、下が3階の合計1万8036冊、合計2万5521冊です。現在のさわた図書館の所蔵が4万695冊で、このレイアウトでいくと、1万5000冊くらい足りないかたちになります。事務局としては、せっかくりニューアルしてオープンする関係があるので、現在のさわた図書館の機能自体は下げたくないですし、市民サービスも継続して行いたいと考えています。事務局で考えている案としましては、最終ページになりますが、さわた図書館は廊下を挟んで2つありますが、向かって左が図書館のカウンターがあり受付をしているところ、右が公

	<p>民館の職員が常駐している事務所があり、赤く囲ってあるところに今不足分の本を置いて、公民館の職員が常駐しておりますので、常駐する中での連携でそちらについても閲覧できるものを用意したいと考えています。</p> <p>まとめると、2階については利用できる面積が少ないことから、3階をさわた図書館として考えています。2階は子育て拠点施設として整備し、親子の読み聞かせや子どもたちが絵本を見られるかたちでの図書機能を付与して、現在のさわた図書館の市民サービスを落とさないかたちで考えています。今後の予定ですが、課長が冒頭申し上げましたが、議会、教育委員会に説明し、年明けに市民の意見を聞く場を設けております。本日いただいた意見や市民の方の意見を踏まえ、基本構想の案を修正し、来年度実施設計とし、来年度工期という予定をしています。私からの説明は以上ですが、加藤さんから説明があればお願いします。</p>
加藤主任技師	<p>私から前提条件のところを詳しく説明いたします。データとしては、色が付いた図面を見てください。2階ですが、蔵書数や書架の配置について、なぜこういう案になっているかですが、建物の耐荷重の計算、既存の間取りを活かして必要な書室を配置した結果、原案の平面計画になっています。配置ですが、建物が細長いので、真ん中のほうには管理上、利用上左右に行きやすい中央部分ということで受付や事務の機能を配置しています。既存の間取りを活かしつつ、左から親子交流スペース、児童書スペース、赤ちゃんスペースとなっています。おおよそではありますが、左側は中高学年の比較的大きい子どもが滞在できる場所で、右側は赤ちゃんなど小さい子どもが滞在できるという大きくなりとなっています。</p> <p>3階ですが、3階も細長い建物なので、真ん中に事務機能を配置しています。既存の間取りを活かしつつ、必要諸室を配置していますが、3階は左から郷土資料・参考資料図書の場合、その上に学習室、こちらに行くとブラウジングコーナー、雑誌などをパラパラめくる空間を含んだ一般図書の図書室、旧議場を利用した多目的ホールとなっています。この空間の雰囲気としては、左側はより静かな空間で、静かに本を読みたい方にはよいかと思いますし、右側は本をめくる音など比較音が出る空間となっています。こちらに行くにしたがってうるさくなってくる。</p> <p>建物の耐荷重の計算ですが、建築基準法で、建物の用途ごとに耐荷重が決められています。佐和田行政サービスセンターというのは、事務所という用途で、その前提のもと耐荷重を計算した結果、今の書架の配置になっています。ちなみに、図書館の用途として書架などをたくさん配置する場合、約2.7倍頑丈な構造が必要になります。なので、今置いてある書架がかなり限界に近いところなんです。事務所として設計された建物を図書館並みに補強するという場合も考えられますが、そうすると建物の基礎や柱、梁などの構造体をすべて再</p>

	<p>設計する必要がある、単純に3倍近く補強しなくてはいけないので、それは現実的ではないと考えています。それと、既存の間取りをこれ以上変更できないかというところもありますが、図面で見えていただくと、トラ柄の壁がいくつか残されているものが、先ほど村岡館長からも説明があった平成 27 年度に耐震改修の工事をした時の耐震壁・耐力壁という、地震などが来た時の対抗する壁の位置づけなので、これ自体は取ることはできません。なので、この間取りを活かして配置している状態です。2階だと、壁があり開放的な間取りが難しい状態でしたが、廊下の部分と空間をつなげることで、できる限り開放感を得るように工夫をしました。</p>
村岡館長	事務局の説明は以上です。
木村会長	<p>今の加藤様の説明の中で、2階と3階の説明のあとに、緑色の壁が絶対に外せないと強調される部分になりますか。2階案は、3階案はという聞き方をしませんので、2階3階合わせてまずは質問をお願いしたいと思います。</p>
海老名委員	<p>耐震の問題で、取れる壁、取れない壁、基本的に今の説明だと既存の廊下の部分の壁については取れるが、縦の部分については取れないということですか。この壁は今はあるが取れるという説明があると理解しやすかったかなと思います。</p> <p>それから、2階の最初の地図の右上の凡例のところの黄色のところ、多目的ゾーンで選挙とありますが、これはどういう意味ですか。</p>
伊藤係長	当日・期日前投票所としても使いたい考えです。
海老名委員	もう一つ、職員の配置は、2階は子育て支援関係で子育て側の職員が配置され、図書館の職員は3階ということでよいですか。
村岡館長	今子ども若者課と調整していますが、基本的にはそういう予定です。
海老名委員	<p>最後に、2階で、母子健康センターと信用保証協会が入っていて、その部分は手を付けられない、そこで、母子健康センターと子育ての通路に扉がありますが、その扉はクローズになる。なぜかという、トイレが1か所しかない。そうすると、母子健康センターを利用していた人がトイレを使用したい時にどうなのかというのと、火災が起きた時の避難路が確保できていないのではないかと、同じように信用組合にも言えますが、通路の動線のことを教えてください。</p>
市橋課長	<p>今質問がありました、保健センターにつきましては、扉はそのままにしています。普段使用がなければ閉めています。保健センターは使う日と使わない日があります。毎回使っていないので、使う時には鍵は開けます。管理が保健センターなので、図書が保健センターに普段入らないようにしていきたいと考えています。平日で保健センターが使う場合は健康医療対策課の管理になるので、使う場合は鍵を開けてトイレに行ける体制は取れると思います。避難ルート関係は検討させてください。</p>

海老名委員	例えば子育て支援のほうで火が出たら、今の説明だと母子健康センターのほうは健康医療対策課のほうで管理してそちらで鍵をかける。そうすると、真ん中のスペースにいる人が避難する場合には、自分たちで開けることができないのでは。
市橋課長	ここを使っている人はここに階段があります。ここを使っている人はここに階段がありますが、もう1か所こちらのほうに階段があるので、そこはオープンになっています。今でもオープンになっているので、緊急時にはこちらの人はこちら側か、ここから逃げるか。
加藤主任技師	もちろん今後建築基準法上でも2方向避難にしたり、の話が出てくるので、そこは来年度さらに詰めます。避難できなければしょうがないので、それをもとに運営側でどうするかというところも話していかなければと思います。
市橋課長	扉は閉めますが、鍵をするかまでの議論に至っていないので、今加藤さんが言われたとおり本設計の時に詰めたと思います。基本的に土日こちらを利用されていない時は、こちらと一体化でイベントなどの時はこちらを使うということで、子ども若者課が健康医療対策課と調整をしています。
海老名委員	確保だけはしてほしいと思います。 それから、3階の今の議場のところをイベントホールに活用するということが、例えば使い方として講師の方の講演会などに使うという時に、できれば控室などあるとよいと思いますが、控室などはないですね。
村岡館長	それは意見として受けさせてください。私たちもそこまで検討していなかったもので、この後どうしていくかはまた検討させてください。
木村会長	他にございますか。
杉坂委員	1つ目、防犯上の件です。死角が多く、防犯カメラを付けたとしてもその監視をだれがするのか？子育て支援と図書館で2階3階に分かれているため、常時それを見ていることはできない。また、先ほど言っていた3か所の階段があり、母子健康センターの戸は閉まっているが施錠はしていないとなると防犯上にも問題が出てくる。過去にも佐渡市内の図書館で防犯上の問題で事件があったと記憶しています。監視カメラを付けるにしてもどのように監視するのか考える必要があります。 2つ目、多目的ホールのイベントで、段差をそのまま残すという話ですが、段差が大きいので、子どもやお年寄りも移動しにくいです。車いすの方は当然動けないので、段差を少なくするか、平らな方が使いやすいかと思います。このまま残すにしても両サイドにスロープを付けるなど、車いすでもスムーズに動けるように考える必要があると思います。 最後、3つ目です。これは平面図なので、窓がどうなっているかわかりません。例えば、窓側に席があるところは窓の外景色が見られるのか確認したい。3階

	の学習室では海側と内側、両方に席がありますが、どうなっていますでしょうか。
加藤主任技師	景色の話ですが、3階の山側は窓がザーっとありますので、山が見えるかと思 います。海側ですが、この部分だけは海がぼっちり見えると思います。他の部分 は 27 年度の耐震改修の時に「×」(*注 耐震の鉄骨のこと)が入っているの で、「×」の隙間をぬってみることはできますが、完全なオープンな景色は見ら れないかなと思います。
村岡館長	多目的ホールの段差については、委員の意見として承っており、こちらも完全 にフラットのほうがよいのではないかななど、いろいろ考えた中でこういった案にし ましたが、委員の方から再度こういったご意見がありましたので、また検討したい と思います。 カメラについてですが、図書館での事故や犯罪がありましたので、中央図書 館、学習室についてはカメラが設置してあり、24時間録画するかたちになって います。3階の奥に事務所がありますので、常時カウンターに出ることになるの で、録画で事前抑止といったかたちでの防犯や、壁際の学習室のところも窓を 設置して中が見えるかたちのものを予定し、できるだけ密閉空間を作らないと か、密閉空間である場合はカメラがある旨を伝えて抑止をすとか、今回壁が多 く取れない壁もあるので、そういった部分での防犯の観点はそういった中でしっ かりしていきたいと思います。
木村会長	3階のところで、今の傾斜を生かした簡単に床を敷いてやるという考え方があ ると思いますが、伊藤係長さんのほうが詳しいと思いますが、中央図書館ならこ の部屋がその役割を果たしているということでもいいですね。この部屋を使って 1年間でどれくらいの会合があるか、どのような団体が使っているか、前提条件 になるので教えていただけますか。
伊藤係長	この部屋の稼働率ということですよ。週2日くらいは使っています。
木村会長	結構な需要がありますね。そうすると、やっている回数が佐和田でも同じように 考えられるのか、今まで佐和田はやりたくてもできなかったわけですよ。でも 中央図書館であればここで週2日くらいはやっていたと。 今までできなかったことができる可能性が出てきたと考えたほうがいいのか。な。 たぶん講座をするということは講師がいたり、比べ物にならないかもしれないが 可能性が広がる。3階案が決定して使われるとすれば、講演形式のものが他の 団体でもできる・・・
杉坂委員	多目的ホールでイベントをすると、敷居のところはドアがあって音を防ぐかたち になっているのでしょうか。
加藤主任技師	防音の扉になっているので、議会で使っていたので音が漏れないようにはな っています。
渡邊委員	構造上は何とも言えませんが、蔵書冊数が約4万冊あるものが新しい図書館

	<p>になることによって随分減るわけですね。児童書も若干減ると思いますが、一般書もですが、今までの図書館にも本を置くという考え方ですね。その区別というのは、できてからのことだと思いますが、せっかく新しい図書館にするのに、入る冊数が少ないのは大変残念だと思いますが、構造上耐荷の面でどうしようもないことですか。</p>
加藤主任技師	<p>冊数を計算してこの表ができていますが、これ以上増やすと床が耐えられない状態で、耐えさせるためには、かなりの補強をしていかなければならず、予算上大変ですし、再計算したがよいが結局できなかつたとか、そういったことになりえます。</p>
渡邊委員	<p>1万冊以上が新しいほうへ持って行けないということになりますよね。</p>
伊藤係長	<p>新しいほうへ持って行く本というのは、厳選した上で、皆さんの利用、楽しみが広がるようなかたちで本を持って行きたいと考えています。今のさわた図書館にある程度置くものですが案ではありますが、目的を持った利用が中心のものにしたらどうかと考えており、例えば文学全集やいろいろな図書館に思想体系や全集類がありますが、そういったものを中心に、今のさわた図書館に置いたらどうかと今のところ考えています。</p>
渡邊委員	<p>これからの利用の考え方によっては、そういうふうと考えていく余地はあると思いますが、やはり無理だということですね、わかりました。</p>
木村会長	<p>思い切って、信用保証協会や研修室、保健指導室などを中央会館に移ってもらうということは検証したのでしょうか。</p>
市橋課長	<p>我々もできれば面積を増やして冊数を増やしたいということで、佐和田町役場を作る時に国から補助金をもらって造っています。その時に機能に合わせてセンターを造る補助金や、母子健康センターだと厚生省から補助金が出たりしているので、目的が違うので、今のところそちらの施設については厚生省の関連があり、確認をした結果我々は使うことができないということです。</p>
木村会長	<p>法的に有効期間とかありますか。</p>
市橋課長	<p>信用保証協会についてはある限り動かさないと考えています。母子健康センターについては補助金の適正化という法律があり、その部分でまだいぶ年度が残っているものですから、すぐにはできないということで今回は……。</p>
杉坂委員	<p>多目的ホールには図書を置けないのでしょうか。</p>
市橋課長	<p>意見として受けさせていただきます。ただ、さわた図書館の4万冊にこだわる必要があるのかなど。私は今の図書館のあり方について10の市町村の本を持っていた、そして同じ本が重なるとか、さわた図書館に行った時にスポーツの本でルールが変わった前の本が置いてあったり、なので、前回の図書館協議会で選書や特徴のあるというところで伊藤さんに話をし、今後そういうところを考えないといけないのではないかと。今まで持っていた4万冊が、果たしてこのあと4万</p>

	<p>冊確保しないといけないのか、図書館の大きな課題だと思っています。なんでも捨てればよいという考えではなく、そこは図書館協議会の皆様と話をさせていただきたい。この図書館はこういう図書館、この図書館はこういう図書館という、ある程度メリハリも持っていないといけない。それを一緒に考えていただくのが図書館協議会の皆様の知識だと思いますので、4万冊というところで、市長も4万冊持って行きたいと話してくれましたが、構造上難しいというところが分かってきたので、その中で佐和田は子育てを中心とした、前の中央会館の横に圏民センターがあり、子どもの遊び場をこれから整備していくと思いますが、そういったところを含めて、ここについては親子をメインにして、2階は子ども若者課で管理するので、そこはそこでどういう使い方をするか検討しています。そこには子どもの本、子育てに関係するような本を置き、特徴を持って行きたいと思いますし、3階については伊藤さんがいろいろな構想を考えているので、市民の皆様の説明会の中でもいろいろな意見が出てくると思いますので、また一緒に考えていただきたいと思います。渡邊委員の言われたことを十分理解しているつもりではありますので、そこについてはこのあと話をさせていただきたいと思いますし、委員の皆様にも譲れないところがあれば言っていただければと思いますので、意見をいただけるとありがたいと思います。</p>
木村会長	<p>私もたまに佐和田に行くことがあります、あのスペースの中で佐渡の歴史の関係が1/4くらい占めています。中央図書館と完全に合体します。そこは中央図書館で責任を持って管理すれば、4万冊は減っていきます。今回も割り切って考えないと進まない。新しく移る図書館と中央会館を生かすと、人間の増員ができないですね。今2人でやっているのをさらに1人増員はできないですね。中央会館の関係者にいてもらうのも限界がありますよね。</p>
市橋課長	<p>そこはまたこれからの考え方で、さわた図書館の今の人数が2名ということではよろしいですか。</p>
木村会長	<p>2名ここに付けないと無理ですね。カメラのことや貸出業務もあるし、最低でも2名欲しいですね。</p>
村岡館長	<p>人員についてはまた協議がありますし、現行のさわた図書館については、公民館の職員が入っている事務所がありますので、職員の方と連携しながらやっていきたいと事務局案としては出ております。今ご意見として承りました。</p>
市橋課長	<p>人数が2人しかだめだということは今のところは思っていません。話があった死角という部分で、人数がいる可能性があると思います。そういったことはこのあと総務課等としっかり話し合っていく必要があると思います。2人しかだめということではないと思います。</p>
木村会長	<p>それと、前から気になっていましたが、渡邊委員さんも館長をされていてわかると思いますが、きちっとした図書館としての書庫を持っているのが、中央図書</p>

	館と真野図書館。佐和田は現状だと書庫は？
伊藤係長	公民館の倉庫と兼用で。
木村会長	ここでいうと3階に明示して書庫があります。そうすると今までよりは書庫の利用ができるわけですね。それは専用の書庫として3階の一番左にある書庫が完全に図書館としての書庫として使えるわけですね。それだけはメリットと言えればメリットですね。というのは、大事な資料が今後過疎が進んでいくと、解体される時に処分されたり、外の業者が安く買い取ってしまうとか、特に金銀山関係は、大事にしないといけないので大丈夫かもしれないけど、佐渡にはいろいろな芸能に関するものもあるし、そういうものが眠っているがどこにもやり手がない。昨日広報が配られてきましたが、その中で両津郷土資料館が工事中だと出ていました。1月4日から予約できるようになっていましたが、あそこには民俗芸能関係などの重要な資料を置く書庫などは造られるのですか。
市橋課長	博物館の横に倉庫を持っていますが、湿度などの管理ができたものが博物館の倉庫とはなっておりませんが、建物だけは博物館の横にあります。
木村会長	今後図書館全体として、資料をどのように残していくか課題になると思いますので、可能性があるところをきちっと探って、ここにもできたら1つ空けて書庫にしていだけないか、そんなことも今後考えていく必要があるのではないかと、大事な文化財を残すために、2階案になった場合には考えてもよいのではないかと。3階にはありますので。
渡邊委員	2階、3階は耐荷重は同じですか。2階は 7400 冊、もう少し増やせる可能性がありますか。できればさわた図書館には児童書を他の図書館にないものも入れておきたいという気持ちがあります。2階が児童専門コーナーになると思うので、赤ちゃんコーナーには赤ちゃんの本を入れるとか、今現在あるさわた図書館の本は入れていただきたい。2階にもう少し余裕があるのかなという気はしますがいかがでしょうか。先ほど伊藤さんが案として言っていました、今の図書館があるスペースは公民館の職員もいるし、普段あまり利用されない全集関係を置くことはすごくよいと思います。今自動貸出機というのはどこの図書館でも普及していますので、人員の問題は新図書館の2階と3階に必ず1人は置かなくてはいけないことで、現図書館についてはこの案で何とかなるかなと思います。
村岡館長	2階に冊数を増やせるかどうかは子ども若者課と相談して・・・
渡邊委員	赤ちゃんコーナーのところがまるで本が入っていないようですので、赤ちゃんの本で特化したものがあるので、そういったものを持って行けるとまだ余裕がある気がします。
村岡館長	委員の意見として建築関係も踏まえて検討したいと思います。
関根委員	2階は児童書関係というかたちで、3階には郷土資料ということで書架を置かれると思いますが、一般図書に関してはかなり書棚がバラバラな感じがします。

	<p>利用する側としては、児童書や歴史のものは行きやすいイメージがありますが、例えば欲しい小説などは部屋ごとに書棚があつたりするので、自分が欲しい図書に関して職員に当然尋ねますが、職員がいない時は自分で探し回る感じが出てくるので、できれば図書がどこにあるか端末みたいなものがあると非常に便利かと思います。今までのイメージだと、図書館の全部の1フロアの部屋の中に全部の本が収められている感じですが、3階の一般書の扱いについて、何かしらの系統で分けるなど、分かりやすくしてほしいです。</p>
市橋課長	<p>どこにどの本があるかここに検索の機械を置きますので、今2台くらい置くようになっていきますので、建物が複雑なのでそこはしっかりしたいと思います。</p>
伊藤係長	<p>今のところのプランですが、佐和田行政サービスセンターの3階を郷土資料も含めて一般向けの本、2階を子供向けの本、入りきらないものを現在のさわた図書館2階3階全部をさわた図書館としてフロアを使わせていただいて、本を配置していきたいと考えています。その上で、関根委員のご質問どおり、いろいろな本があちこちにあると使いにくいと思うので、利用者のニーズを踏まえて、子どもという利用者層が見えるところは2階に、一般のものは3階に、ニーズが特定されたようなものは現在のさわた図書館に分けて、利用者の使いやすさなどを考えて本を置いていきたいと思います。本についても、皆様普段から図書館を利用されていると思いますが、何となく分野ごとに並んでいると思います。その分野についても、他の図書館と基本的に図書館のほうで分類という決まりがあり、分類ごとに並べているというのが多いですが、そういったところに概ね沿いながら、使いやすさも考慮しつつ本を配置していきたいと考えていますし、先ほど課長の市橋からここにパソコンがあるということで説明がありましたが、そこで検索をするとこの本はここにありますというかたちで表示される仕組みを採用して、どこにどの本があるかわかるようにお知らせしていくように考えています。</p>
木村会長	<p>他に意見いかがですか。</p>
土屋委員	<p>今日初めて参加させていただきました、南佐渡中学校の土屋です。これまで学校の関係で参加できず申し訳ございませんでした。全て意見ですが、先ほど杉坂委員からあった防犯関係について、2階と3階に事務室がありますが、職員の配置は3階ということですか？</p>
市橋課長	<p>2階については基本的には子どもがキーワードで、管理としては子ども若者課として考えています。2階の真ん中の青いところが事務室で、そこに図書館の職員が配置になるか子ども若者課の職員が配置になるか分かりませんが、そこに配置する予定でいます。3階については図書館ということで、エントランスの上の青い部分を確実に図書館の職員を置き、図書の支援をすることを考えています。</p>
土屋委員	<p>同じ図書館と言いながら、2階と3階では管轄が違うということですか。</p>
市橋課長	<p>図書館ということで我々動いておりますが、2階については子どもを中心にし</p>

	た施設ということで、相談機能などをしっかり作っていきたいということで子ども若者課は考えているようなので、そちらの方向性のほうが強いと思います。3階については図書館の考えで動いていきたいと思います。
土屋委員	では、2階の本を借りるのは2階で完結できるのですか。
伊藤係長	完結したいと考えています。
土屋委員	そうすると別の施設という捉え方ですね。2階の本を借りるのに3階に持って行って受け付けて借りるという動きはないわけですね。
市橋課長	そこはまだ決定ではないです。どうかたちがよいかこのあと話し合いをしたいということで、今は図面ができたということで皆様にこういう方向でということ考えていますが、今委員からおっしゃっていただいたかたちがよいのか、どうかたちがよいのかいろいろな方から意見を聞いていきたいと思いますので、こういう理由でこうしたほうがよいのではというところは話していただけるとありがたいと思います。
土屋委員	先ほどのお話をお聞きしていて、3階に受付ということで、2階には受付がないのか、防犯上心配だなと思い話を聞いていました。 あと、子育てを中心というコンセプトがこの図書館にはあるとお聞きしました。私は中等教育に身を置く立場として、幼児や子育てに非常に充実した施設だと思う一方で、22席しかない学習スペースが気になりました。佐和田という地区は高校もありますし、佐渡は田舎で、都会のスタバのような民間施設もなく、夜自習するスペースが非常に限られていると市議会でも話題になったかと思えます。営業時間や開館時間の問題もソフト面で入ってくると思いますが、そのあたりを充実できないものかと思っていました。例えば、昼間幼児スペースに使っているものを、夕方から夜にかけては中高生が使えるスペースにチェンジしていけるような構想が考えられるのではないかと考えていました。意見ですので、中高生の、特に高校生の夜の学習スペースの時間を確保していただけたらと思います。
村岡館長	ありがとうございます。ご意見として承りました。
市橋課長	夜の、と言われると、議会でも問題になりましたが、学校教育課との話合いの中で、遅くても 19 時くらいまでだろうということで、委員のイメージはどんな感じでしょうか。
土屋委員	健全育成条例に違反しない時間であれば。市町村によって定められていますので。
渡邊委員	選挙に使う場所というのは、飲食が可能だったり、交流スペースですので普段は椅子を置いて自由にご飯を食べたり、多目的な場所となるわけですよね？選挙に使わなくてはいけないから置けないけれど、そういうスペースとして活用したいということですか？自由に椅子を動かして、なにもないようにするということ

	<p>ですよ？</p> <p>廊下は選挙に関わる廊下ですか。廊下 720 冊。</p>
村岡館長	ここにソファが2台あり、ここが 720 冊ということ。
渡邊委員	このソファは選挙の時は移動させるということですか。
村岡館長	はい。
渡邊委員	その書架は選挙の時は見られないのですか。
伊藤係長	選挙のスペースですが、この柱をこう見るイメージでいるので、選挙のスペースとは重なりません。
海老名委員	期日前は今の場所をパーテーションで区切るというのは可能ですか。
加藤主任技師	可能です。
海老名委員	<p>先ほど渡邊委員が言った蔵書数の関係で、このあと費用対効果の問題が出てくるのではないかと心配です。巨額のお金を使って新しいさわた図書館を整備するが、蔵書数が今より少なくなる。加えて今の図書館の部分もあわせて使うとなると、費用対効果の部分で話が出てくるのではないかと気になりました。</p> <p>それから防犯上の問題で、監視カメラを置いて録画するから抑止力にはなるとい説明ですが、確かにそうですが、それは事件がわかったあとでどうにもならない。世の中AIがかなり進歩しているので、例えば問題行動のあるようなものを認知した時に赤色灯か何かでそういうものがあるとだいぶ違うかなと、これは感想です。</p>
村岡館長	まだご質問のない委員の方いらっしゃいますので、その委員の方からご意見いただけると。
遠藤委員	子どもと親子をメインに考えたとしても、市民の図書館でもあるわけで、あまりそちらに振りすぎて一般の方が使いづらくなってしまうと、それも問題かと思えますので、概ねこの構成でよいと思いますが、学習室や研修室の大人が使えるところがない気がするので、多目的ホールの一角にでも少し机と椅子が置いてミーティングなどできるとよいなと思いました。大きくて使いにくいと思っていますが、贅沢も言えないので、公民館の部屋を使うなど、市民の方にそのへんの協力はこの間取りだと必要かなと思いました。
坂口委員	内容はこれでよいと思いますが、佐和田のセンターに入った時の暗い感じがあまり好きではなく、エレベーターで利用するにしても、階段を利用するにしても、抵抗がある暗さです。建物の雰囲気は暗いイメージがあり、足が遠のいてしまうものですから、もう少し図書館らしく明るい雰囲気のものを入りに工夫をしていただきたいと思えます。遠藤委員もおっしゃったように、だれもが利用しやすいような、子どもたちの読み聞かせをするメンバーは簡単に図書館に出入りできますが、読書会のおばあちゃんたちも今は気軽に図書館を使っていますが、70代80代の人たちが使いにくいかなと、そういう人たちこそ気軽に使いや

	すいような、身近になるような工夫をしてほしいと思います。
杉坂委員	3階のイベントホールに本は荷重の問題でなんとかすることができないのでしょうか
加藤主任技師	荷重の問題では置くことはできますが、運用の方法で今回は抜いています。
杉坂委員	イベント関係は中央会館のところにすれば、お年寄りの方は1階だから利用しやすいと思いますが、そのへんのやりくりを検討する余地はあるかと思います。既存の中央会館の図書館部分と入れ替えるのはどうですか。
市橋課長	大きさの問題もあるので、使い方として音楽発表をしたいとか、いろいろなイベントに使えるように利用したいというところもあるので、意見を今お聞かせいただきましたので、また考えたいと思います。
小松委員	相川のはずれから来るので、いかに高齢者を動かすことができるか考えていますが、高齢者も運転免許を返納して足がありません。以前移動図書館の件もお願いしましたが、店に行ってこれを買ってきてくれと言われて頼まれますが、本は全然やり取りができずに、自分も70代になりますが、80代の高齢者が周りに結構います。畑に行き行って帰ってこない、畑で亡くなっていたというのも今年度ありました。いかに高齢者を引っ張り出せるか、かといって自分が乗っていくかと、自分だけでなく相手がいることですので、何とか高齢者を救いたいという気持ちでボランティアさせていただいていますが、社会福祉のマイクロもコロナの関係で買い物をやめました。周り的高齢者を見ていると切ない思いがするので。
木村会長	ブック号の稼働はこれ以上増やせないですか。
伊藤係長	日数を増やしたり、停車の時間の見直しなど検討したいと思いますので、いろいろ教えてください。
小松委員	70代半ばより上の方は本を読むという習慣がない。今までは農作業で体を動かしていましたが、やめて田畑に行かないとなると、そういう人たちをどう救えばよいのか。時々声はかけますが、これは佐渡全体の問題だと思っております。
伊藤係長	こちらとしても、遠隔地の方にどう本を届けるか、移動図書館車も運行していますが、それ以外の方法でも何かできることはないか検討していきたいと思っております。ご意見ありがとうございます。
木村会長	今の内容はその他に近い内容ですが、図書に関したり、佐渡人の今後の生き方について行政の対応等について、図書に関することだと一番よいですが、情報交換がありましたらお願いいたします。
市橋課長	一旦さわた図書館についてはこれで終了にさせていただいてもよろしいでしょうか。我々、これから明日議会に説明して、今月末教育委員会に説明します。できれば1月から佐和田地区のほうへ出て意見交換会をしたいと思っておりますので、それまでに気づいた点があれば教えていただきたいと思いますし、説明

	<p>会のほうに来ていただいて市民の意見も聞いていただけるとありがたいと思いますので、一旦さわた図書館については終了ということで、また思いついたことなどあれば連絡いただきたいと思います。</p>
<p>(2)その他</p>	
木村会長	<p>ではその他ということで、何かありますでしょうか。</p>
伊藤係長	<p>委員の皆様へ封筒でお配りしました、こちらについてご説明させていただきます。佐渡市図書館ビジョン実施計画の評価表ですが、大変遅くなり申し訳ございません。3年度の事業内容につきまして、簡単ではございますがまとめさせていただきました。こちらにつきまして、昨年と同様委員の皆様から意見を頂戴したいと思います。年末のお忙しいところ大変恐縮ですが、12月28日までに図書館にご意見をくださいますよう、ご協力をお願いいたします。メール等で回答が可能ですし、様式等必要な方がいらっしゃれば会が終わりましたら私か本間におっしゃっていただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
渡邊委員	<p>このビジョンを書くにあたり、前回の図書館協議会の時には何も説明がありませんでしたが、11月3日に子どもに対するイベントを開催したと思いますが、その時の状況を教えていただけますか。私たちには何も反映しておらず、あるということも後で知った次第です。教えていただければ、子どもに関しても書けるかと思えます。</p>
伊藤係長	<p>令和4年11月3日ですが、絵本フェスタというものを新徳トキのむら元気館で行いました。親子向けのイベントでして、内容は杉坂先生にアニメーションをいただいたり、絵本の読み聞かせ、絵本に出てくるお菓子を作ったり、工作・折り紙などをしたりして楽しむ1日となりました。参加された親子ですが、全体として約100名の親子が来てくださり、1日楽しんでいただきました。委員の皆様にはお知らせ等十分でなく申し訳ございませんでした。大変恐縮ではございますが、令和4年度の事業でこのように行いましたが、今回皆様をお願いしたいのが昨年度の内容となっております、重ね重ね遅くなりまして申し訳ございません。今年度こういったかたちで事業を行ったということで、この場で報告させていただきます。ありがとうございます。イベントについて周知させていただきますので、いろいろ至らず申し訳ございません。</p>
遠藤委員	<p>今メールアドレスをお持ちの方も増えていると思うので、差し支えなければ図書館に登録し、ご案内であればメールのほうが印刷封入だと手数もかかるので、そういうかたちに切り替えられれば、徐々にそういうふうにもよいかと思います。</p>
市橋課長	<p>そういう意見もありましたが、皆様メールアドレスを教えてください、会議の案内など出すかたちでも大丈夫ですか。</p>
遠藤委員	<p>協議会などは紙でいただいたほうがよいかも。イベント案内などはメール活用</p>

	でもよいかと。
市橋課長	では、協議会のほうは紙で出し、イベント等についてはメールにさせていただきたいと思いますので、帰りにメールアドレスを教えてくださいとありがたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
関根副会長	3. 閉会 挨拶